3D ホログラムスクリーンをつくろう

スマートフォンやタブレットで再生する動画が立体的に見える 3D ホログラムを作ってみよう

【立体のように見える原理】

鏡の見え方の原理を利用しています。（図 1）

3D ホログラムの反射板（下敷き）が鏡の役割をして、下の映像を横から見ていることになりさらに映像の周りが黒いため浮いたように見えます。（図 2）

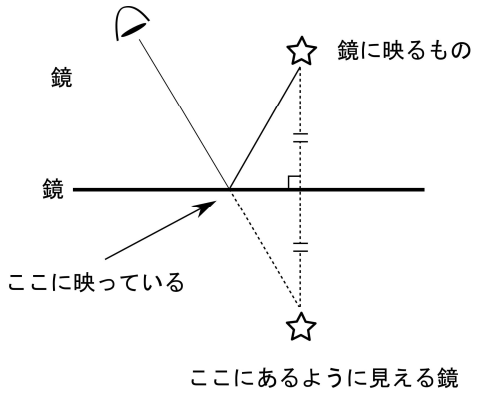

図 1

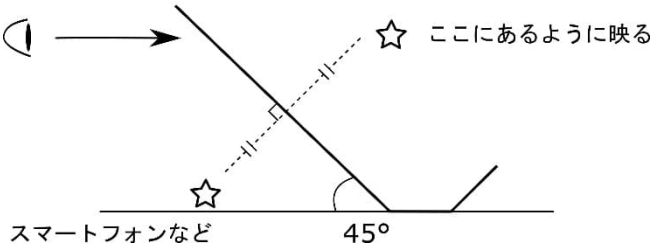

図 2

【工作に必要な道具】

ハサミ・カッターナイフ

両面テープ

セロハンテープ（マスキングテープ）

カッターマット　※刃物を使うときは、けがをしないよう気を付けて作業しましょう

※動画は動画配信サービス「3D ホログラム」で検索することができます

【工作に使う材料】

色紙（A4 サイズ、画用紙のような厚紙がおすすめ）:1 枚

透明下敷き（A4 サイズ）:1 枚

スマホ　or　タブレット:1 台

動画は動画配信サービスの中で「3D ホログラム」で検索できます

【工作手順】

1．スマートフォン、タブレットどちらかの寸法で下敷きを台形に切り出し 4 枚作ります
2．色紙をスマートフォン、タブレットどちらかの寸法で正方形に切り出します
3．色紙の 4 辺に台形に切り出した下敷きをテープで張り付けます。
4．2 枚下敷きを折り曲げて、隣の下敷きと辺をあわせてテープで固定します
5．4 枚の下敷きをすべて隣同士の下敷きと張り合わせて立体的な台形にします（動画を映し出すスクリーンになります）
6．スマートフォンまたはタブレットでホログラム動画を用意して、画像まっすぐスクリーンにたるように中心に組み立てた 3D ホログラムを置きます
7．横から見ると動画が浮かんで見えます

※部屋を暗くして見るか、見ている反対側に黒い紙などを置くとよく見えます

セロハンテープ

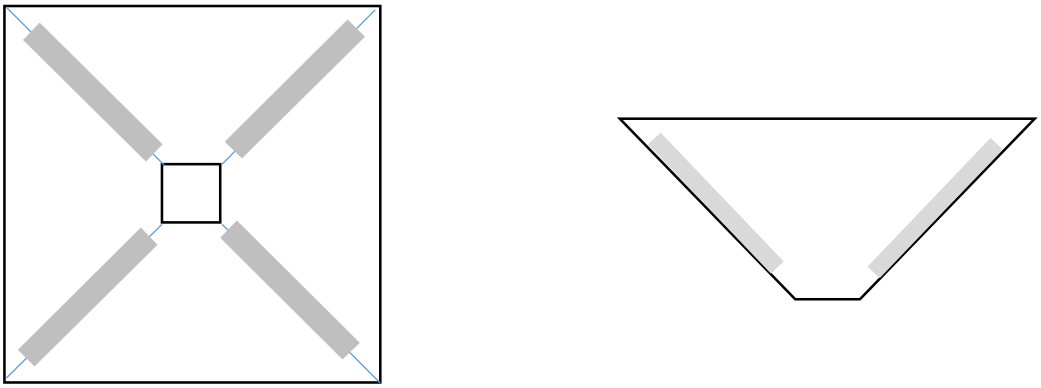

図　組み立てた部品を上と横からみた様子

図　完成図